

モニタリング結果報告書

施設 恩賜箱根公園

指定管理者 財団法人神奈川県公園協会・株式会社小田急ランド・フローラルグループ

施設所管課 小田原土木事務所

(平成 21 年度 上半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考（確認事項等）
4月	5月8日	5月25日	月例報告書・日報・現場確認
5月	6月9日	6月22日	月例報告書・日報・現場確認
6月	7月9日	7月23日	月例報告書・日報・現場確認
7月	8月10日	8月24日	月例報告書・日報・現場確認
8月	9月10日	9月28日	月例報告書・日報・現場確認
9月	10月9日	10月26日	月例報告書・日報・現場確認

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A：提案を上回る B：提案どおり C：提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

<提案内容の概要>

① 「旧離宮の歴史と秀景を心に刻む、もてなしの空間づくり」

ア、ある庭園美と芦ノ湖畔に広がる眺望の継承と向上。

- ・ 由緒ある古木、老木の健全な育成と樹芸の継承による高度な庭園管理を施します。
- ・ 富士山や芦ノ湖畔の優れた眺望を望むビューポイントに配慮した樹木管理をおこなう。

<実施状況>

- ・ 継続して技術と経験の豊富な地元の造園業者に委託して庭園管理に努めており、多くの来園者からは手入れが行届いているとお褒めをいただいた。
- ・ リンドウ・大文字草などの草花の種を採取して苗圃で育て園路縁に移植した。
- ・ 園路沿いや広場等には、マメザクラやシャクナゲなど花木を植栽して彩りをそえた。マメザクラなどの既存の花木が、他の樹木等でせっかく花が咲いても見えないものは、障害となる枝を剪定して公園の魅力アップを図った。

<提案内容の概要>

イ、公園の魅力を満喫していただきたいためのおもてなし（サービス）の提供

- ・ 湖畔展望館を活用したおもてなし（喫茶、休憩所）の充実と季節の見所を紹介（写真展等）します。
- ・ 地域との連帯による地域活性化に繋がる、箱根の和の雰囲気味わえる催しを開催します。

<実施状況>

- ・ イベント第7回「芦ノ湖畔の四季と音楽鑑賞会」において、雨天のため野外の催しを中止としたが、湖畔展望館で開催した「俳句展」、「寄木細工体験コーナー」、「クラリネット演奏」は多くのお客様から喜ばれた。
- ・ イベント「風爽やか恩賜箱根公園 野点の会」天気は一時小雨であったが、お客様は予想以上に来ていただき、大変喜ばれた。このとき恩賜箱根公園をよりいっそう知ってもらうためのアピールをした。

3 収支状況

(単位：千円)

	収 入 額			支出額	収支差額
	指定管理料	利用料金 (前年同月料 金額)	その他収入		
年間予算額	66,500	37,500	29,000	66,500	0
上半期計 (a)	35,965	17,504	18,461	27,325	8,640
4月	4,466	1,555	2,911	4,203	263
5月	4,645	1,257	3,388	3,857	788
6月	10,664	8,432	2,232	8,112	2,552
7月	5,310	2,989	2,321	3,207	2,103
8月	5,222	1,013	4,209	4,355	867
9月	5,658	2,258	3,400	3,591	2,067
下半期計 (b)					
合計 (a+b)	35,965	17,504	18,461	27,325	8,640

- 1 指定管理者の収入を記載する(県の収入である「使用料」は含まない)。
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

支出に関しては、県に支払う駐車場の使用料が今年度は上期と下期に分けて支払うことになったこと、植物管理委託において、2回目の支払いが下期になったことにより支出が上期においては減少し、一方で、収入面では、9月にシルバーウィークと高速道路の均一化があったことにより、駐車場収入が増えたことで、総合的に上期としては、収支差額が大きくなった。

(今期に行った資本的な収入及び支出の状況)

	内容	金額(千円)
収入の状況	特になし	
支出の状況	特になし	
積立等の状況	特になし	(期首)
		(期末)

- 収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
 積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容(施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等)、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	221,683人	214,928人	3.1%
4月	37,251人	39,492人	△5.6%
5月	42,995人	41,184人	4.4%
6月	31,316人	28,776人	8.8%
7月	28,879人	30,409人	5.0%
8月	42,258人	42,066人	0.5%
9月	38,984人	33,001人	18.1%
下半期計 (b)	人	人	%
合計(a+b)	221,683人	413,149人	3.1%

〔半期計額の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。〕

5 苦情・要望等の状況

(施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
6月			1	1		2
7月			1			1
8月			1			1
9月		1				1
月						
月						

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
月			
月	特になし		
月			
月			
月			
月			

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

〔類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。〕

分野	概要	対応状況
施設・設備	・展望館2階トイレの暖簾丈を長くしてほしい。	緑賜庵隣接のため通常より長くしてあるため、これ以上の対応は検討していない。
	・同ゴミ箱が雰囲気壊す	目立たない場所に移動
対応	・若い女性職員がいない	求人年齢制限不可
	・	
事業内容	・遊具がほしい	現状では遊具の設置予定なし
	・	
その他	・業者の車が園内をスピード走行	この業者の園内走行禁止
	・	園内走行車両の安全運転徹底

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、行政システム改革推進課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
6月23日	中央園路において70歳の女性が歩行中（箱根竹の新芽に見とれていた）転倒し、右脚膝を骨折して歩行困難になったので、救急車で小田原の病院に搬送（指定管理者付き添い）。その後、退院したことを電話にて連絡を頂いた、その時、大変ご迷惑おかけしましたと言われた。
7月20日	白鳥小屋内にて61歳の女性が農薬飲用により自殺未遂があり、発見後救急車で東海大学病院に搬送した（指定管理者付き添い）。同時に警察にも連絡した。
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日		特になし	
月 日			

9 上半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者	<ul style="list-style-type: none"> 5月に予定した春のイベント「芦ノ湖畔の四季と音楽鑑賞会」は雨天のため野外の催しは中止となったが湖畔展望館内で開催した「俳句展」、「寄木細工体験コーナー」、「苗木配布」、「クラリネット演奏」は多くのお客様から喜ばれた。 5月にはゴールデンウィークという長期の休みがあるが、今年初めてシルバーウィークができ、土日含めると5連休となり、他県からのお客様が多く訪れた。 パーク&サイクルの本格実施を始めたが、ゴールデンウィーク、夏休みと自転車の利用を期待していたが、さっぱりであったが9月に入って利用者が増えてきた。車から自転車に乗り換えて秋の箱根をゆっくり楽しんでもらいたい。
施設所管課	<ul style="list-style-type: none"> 来園者数については前年度より多少増加した。これは大型連休と高速道路代金が1000円均一制となり他県から多く来園があったためと思われる、今後も利用者に公園の魅力を伝えるためにも、花木に対する情報提供の充実など、ホームページのより一層の工夫が必要と思われる。 箱根を良く知ってもらうためにも、パーク&サイクルを利用し環境に優しい自転車利用の促進を計っていきたい。